

2012年5月24日 第10回 上田市公共交通活性化協議会 第10回上田市地域公共交通会議

会長あいさつ 上田市都市建設部部長 清水会長 (以下 清水会長)

変更委員紹介 事務局 上田市都市建設部地域交通政策課 藤澤課長 (以下 藤澤課長)

資料確認 藤澤課長

議題

(1) 上田市公共交通活性化協議会協議事項について

ア 平成23年度決算報告について

事務局 資料1 資料説明

上小圏域障害者総合支援センター所長 橋詰所長 (以下 橋詰委員)

会計監査報告

質疑等 無し

承認

イ 平成24年度予算(案)について

事務局 資料2 資料説明

質疑等 無し

承認

ウ 平成23・24年度地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価について(報告事項)

事務局 資料3 資料説明

質疑等 無し

エ 平成25年度地域間幹線系統確保維持計画について

事務局 資料 4-1 資料説明

上田バス 舟見常務（以下 上田バス舟見委員） 資料 4-2 資料説明

千曲バス 営業部 三浦次長（以下 千曲バス三浦委員） 資料 4-3 資料説明

上田市自治会連合会（真田地域代表） 高寺委員（以下 高寺委員）

現在傍陽線で小型バスが運行していて、狭い道も安全に行けるので具合がいい。是非小型車両は導入してもらいたい。

元信州大学工学部土木工学科 小山教授（以下 小山副会長）

バス事業者の具体的な利用促進策は。

上田バス舟見委員

真田地域公共交通利用促進協議会において、ギャラリーバスを運行していきたい。また、スタンプラリーを実施していきたい。

千曲バス三浦委員

利用者の声を聞き、利便性の向上に努めていきたい。

小山副会長

松本市では市の職員が通勤で公共交通を利用している。上田市も同じことができるのではないかと。また、委員の皆さんも本会議のときには利用してもらいたい。

清水会長

検討していきたい。

承認

オ 平成 25 年度上田市生活交通ネットワーク計画（地域内フィーダー系統確保維持計画）について

事務局 資料 5 資料説明

上田バス舟見委員 資料 5 資料説明

千曲バス三浦委員 資料 5 資料説明

小山副会長

塩田線について、平成 22 から 23 年度にかけて輸送人員が減少しているのはなぜか。また、室賀線は平成 21 から 22 年度にかけて減少し、平成 22 から 23 年度にかけて増加しているのはなぜか。

上田バス舟見委員

塩田線は平成 23 年度に減便しているためである。

千曲バス三浦委員

室賀線は平成 21 年度に減便しているのので、平成 21 から 22 年度にかけて減少している。平成 22 から 23 年度にかけて増加しているのは減便ダイヤが定着してきたからだと思われる。

承認

(2) 上田市地域公共交通会議協議事項について

ア 丸子地域循環バスの運行見直しについて

事務局 資料 6 資料説明

小山副会長

アンケート調査の回収率が 65.8%とあまり高くないのはどうしてか。

事務局

自治会長に配付を依頼したが、回収方法が返信用封筒であったため回収できないアンケートもあった。

上田市自治会連合会（丸子地域代表） 山本委員（以下 山本委員）

アンケート対象のうちの一つである内村地区 6 自治会は丸子地域循環バスが通らないので、アンケートに答えなかった方もいるのではないか。

承認

イ 夏休みキッズパスについて

事務局 資料 7 資料説明

国土交通省北陸信越運輸局長野運輸支局 白砂運輸企画専門官（輸送・監査担当）（以下 白砂委員）

小学生を無料にすることによる減収分の補填はどうするか。

事務局

利用状況を見て判断したいが、バス会社の負担も含めて会社側と協議したい。減収分は市で負担することも考えている。

白砂委員

市で減収分について負担するのであればパス券を用いなくてもいいのではないか。

事務局

検討していきたい。

長野県タクシー協会上小支部 飯島副支部長 (以下 飯島委員)

夏休みキッズパスという企画はとてもいいので、是非進めてもらいたい。

公共交通の利用促進のため、先ず行政(市)としてノーマイカーデーを設定する等の取組みをして欲しい。

清水会長

検討していきたい。

承認

(3) その他

事務局 資料7 資料説明

上田婦人団体連絡協議会 女性部 鈴木副部長 (以下 鈴木委員)

室賀線を減便した際、地元への説明会は行ったか。

事務局

千曲バスさんと一緒に自治会長を対象に説明会を行った。

千曲バス(株)労働組合 三橋副執行委員長 (以下 三橋委員)

千曲バス労働組合では、6月5日に上田駅前でウチワを配って啓発活動をするので、よろしくお願ひしたい。

国土交通省北陸信越運輸局企画観光部交通企画課 幸課長 (以下 幸委員)

提出していただいた事業評価は、外部の有識者を含め、運輸局で二次評価をすることとなる。

地域公共交通確保維持改善事業について、当協議会でご議論いただいた内容で、長野運輸支局に申請してもらうことになる。協議会においては引き続き活発なご議論をお願いしたい。

以上